

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年10月10日
【四半期会計期間】	第50期第2四半期（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）
【会社名】	フロイント産業株式会社
【英訳名】	Freund Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伏島 巖
【本店の所在の場所】	東京都新宿区大久保一丁目3番21号
【電話番号】	03(5292)0240（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 伏島 柳二郎
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区大久保一丁目3番21号
【電話番号】	03(5292)0240（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 伏島 柳二郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第2四半期連結 累計期間	第50期 第2四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成24年 3月1日 至平成24年 8月31日	自平成25年 3月1日 至平成25年 8月31日	自平成24年 3月1日 至平成25年 2月28日
売上高(千円)	8,679,375	8,881,677	16,396,939
経常利益(千円)	994,105	873,301	1,618,290
四半期(当期)純利益(千円)	370,052	470,867	765,356
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	385,522	729,430	971,902
純資産額(千円)	8,728,888	9,864,318	9,315,262
総資産額(千円)	14,060,939	15,484,212	14,971,100
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	42.92	54.61	88.76
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	61.32	62.85	61.44
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	637,953	674,819	740,505
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	55,031	35,032	332,266
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	155,116	195,912	164,975
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,477,382	3,988,090	3,387,948

回次	第49期 第2四半期連結 会計期間	第50期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 6月1日 至平成24年 8月31日	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	4.35	18.77

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後の1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、「アベノミクス」効果による期待感から円安・株高が進み、景況感に回復の兆しが見られたものの、長引く欧州の債務問題や新興国経済の減速などの影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要ユーザーであります医薬業界は、承認審査の厳格化や技術革新の壁に直面し、画期的な新薬の創出が困難になりつつあることに加え、財政再建を背景とする医療費抑制策の強化が進んでいることなどにより、新興国への市場移行やジェネリック医薬品の市場拡大が行われています。

こうした情勢のもと、当社グループは独創的な新製品の開発により、顧客ニーズを捉えた営業活動を展開するとともに、積極的に新分野への展開を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高88億81百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益8億43百万円(同5.6%減)、経常利益8億73百万円(同12.2%減)、四半期純利益4億70百万円(同27.2%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

・機械部門

機械部門においては、堅調な受注及び高利益率案件の寄与により、売上高・営業利益ともに増加となりました。

この結果、売上高は57億33百万円(同2.1%増)、営業利益は7億58百万円(同4.2%増)となりました。

・化成品部門

化成品部門においては、当社技術を活用した栄養補助食品が引続き好調に推移し、売上高は増加となりましたが、円安による輸入諸原料の価格上昇等の影響により、営業利益は減少となりました。

この結果、売上高は、31億48百万円(同2.8%増)、営業利益は2億57百万円(同14.2%減)となりました。

(2) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億13百万円増加し、154億84百万円となりました。増減の主な要因は、受取手形及び売掛金が2億88百万円減少したものの、現金及び預金が5億50百万円、新基幹システムの入替等による無形固定資産が1億61百万円増加したことによるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ35百万円減少し、56億19百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億49百万円増加し、98億64百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ6億円増加し、39億88百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は6億74百万円(前年同期は6億円37百万円の増加)となりました。これは前受金の減少2億93百万円、法人税等の支払額4億63百万円等の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益8億76百万円、売上債権の減少3億27百万円、たな卸資産の減少1億18百万円といった増加要因があった為であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、増加した資金は35百万円(前年同期は55百万円の減少)となりました。これは有形固定資産の取得による支出63百万円等の減少要因があったものの、定期預金の払戻による収入75百万円、有形固定資産の売却による収入21百万円といった増加要因があった為であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は1億95百万円(前年同期は1億55百万円の減少)となりました。これは主に配当金の支払額1億71百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、2億26百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,200,000	9,200,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	9,200,000	9,200,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

当第2四半期会計期間において発行済株式総数、資本金等の増減はありません。

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	-	9,200,000	-	1,035,600	-	1,282,890

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
伏島 靖豊	東京都豊島区	947	10.30
㈱エフ・アイ・エル	東京都新宿区大久保1-3-21	824	8.96
㈱三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	430	4.68
日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	378	4.11
㈱三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	372	4.04
㈱大川原製作所	静岡県榛原郡吉田町神戸1235	336	3.66
日本トラスティ・サービス信託銀行 ㈱(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	306	3.33
フロイント従業員持株会	東京都新宿区大久保1-3-21	254	2.76
野村信託銀行㈱(投信口)	東京都千代田区大手町2-2-2	186	2.03
㈱静岡銀行(常任代理人日本マスタートラスト信託銀行)	静岡県静岡市葵区呉服町1-10 (東京都港区浜松町2-11-3)	184	2.00
計	-	4,220	45.87

(注) 上記のほか自己株式が、577千株あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 577,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,620,300	86,203	-
単元未満株式()	普通株式 2,100	-	-
発行済株式総数	9,200,000	-	-
総株主の議決権	-	86,203	-

()「単元未満株式」の株式数の欄には、当社所有の自己株式20株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
フロイント産業(株)	東京都新宿区大久保1-3-21	577,600	-	577,600	6.28
計	-	577,600	-	577,600	6.28

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,617,368	4,168,031
受取手形及び売掛金	4,764,656	4,476,308
商品及び製品	210,802	306,234
仕掛品	1,497,497	1,164,917
原材料及び貯蔵品	394,182	607,677
繰延税金資産	285,351	298,125
前払費用	114,663	119,511
その他	227,221	275,190
貸倒引当金	26,839	30,562
流動資産合計	11,084,903	11,385,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	969,595	973,553
土地	1,324,424	1,326,647
その他(純額)	616,168	663,952
有形固定資産合計	2,910,188	2,964,153
無形固定資産	29,749	191,740
投資その他の資産		
繰延税金資産	140,053	141,407
その他	818,524	813,796
貸倒引当金	12,319	12,319
投資その他の資産合計	946,258	942,884
固定資産合計	3,886,197	4,098,778
資産合計	14,971,100	15,484,212
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,478,182	2,517,045
未払法人税等	464,890	408,101
前受金	1,279,621	1,055,795
賞与引当金	234,156	185,390
役員賞与引当金	86,000	57,000
その他	472,923	610,667
流動負債合計	5,015,774	4,834,000
固定負債		
退職給付引当金	168,860	173,638
負ののれん	34,451	30,553
資産除去債務	27,396	27,612
その他	409,356	554,088
固定負債合計	640,063	785,893
負債合計	5,655,838	5,619,893

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,282,890	1,280,522
利益剰余金	7,720,198	8,018,618
自己株式	201,146	201,146
株主資本合計	9,837,542	10,133,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,365	17,270
為替換算調整勘定	654,152	419,540
その他の包括利益累計額合計	639,786	402,270
少数株主持分	117,506	132,994
純資産合計	9,315,262	9,864,318
負債純資産合計	14,971,100	15,484,212

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 8 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 8 月31日)
売上高	8,679,375	8,881,677
売上原価	6,004,875	6,070,454
売上総利益	2,674,499	2,811,222
販売費及び一般管理費	1,780,748	1,967,341
営業利益	893,750	843,881
営業外収益		
受取利息	1,214	998
為替差益	-	7,017
受取技術料	7,469	7,379
保険解約返戻金	77,565	-
負ののれん償却額	3,897	3,897
その他	14,145	14,362
営業外収益合計	104,292	33,653
営業外費用		
支払利息	1,084	2,389
為替差損	1,490	-
その他	1,361	1,844
営業外費用合計	3,937	4,234
経常利益	994,105	873,301
特別利益		
固定資産売却益	4,688	4,124
特別利益合計	4,688	4,124
特別損失		
固定資産除却損	283	448
投資有価証券評価損	864	-
訴訟関連費用	301,247	-
特別損失合計	302,395	448
税金等調整前四半期純利益	696,399	876,976
法人税等	339,362	401,741
少数株主損益調整前四半期純利益	357,037	475,235
少数株主利益又は少数株主損失 ()	13,015	4,368
四半期純利益	370,052	470,867

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	357,037	475,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,413	2,904
為替換算調整勘定	23,071	251,290
その他の包括利益合計	28,484	254,195
四半期包括利益	385,522	729,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395,665	708,383
少数株主に係る四半期包括利益	10,143	21,047

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	696,399	876,976
減価償却費	111,757	141,938
訴訟関連費用	301,247	-
賞与引当金の増減額(は減少)	17,312	48,766
役員賞与引当金の増減額(は減少)	25,000	29,000
貸倒引当金の増減額(は減少)	63	-
受取利息及び受取配当金	4,886	4,646
保険解約損益(は益)	77,565	220
支払利息	1,084	2,389
有形固定資産売却損益(は益)	4,688	4,124
売上債権の増減額(は増加)	545,023	327,322
たな卸資産の増減額(は増加)	132,729	118,990
その他の資産の増減額(は増加)	189,374	80,788
仕入債務の増減額(は減少)	310,324	19,701
前受金の増減額(は減少)	445,351	293,058
その他の負債の増減額(は減少)	58,306	86,800
その他	1,996	9,080
小計	1,070,738	1,104,874
利息及び配当金の受取額	4,886	4,646
利息の支払額	1,084	2,389
法人税等の還付額	25,372	30,729
法人税等の支払額	461,959	463,042
営業活動によるキャッシュ・フロー	637,953	674,819
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	72,436	-
定期預金の払戻による収入	-	75,372
有形固定資産の取得による支出	31,559	63,054
有形固定資産の売却による収入	279	21,341
有形固定資産の除却による支出	140	415
無形固定資産の取得による支出	-	5,704
投資有価証券の取得による支出	1,003	1,012
保険積立金の積立による支出	256,514	4,557
保険積立金の解約による収入	305,831	12,655
差入保証金の差入による支出	10	147
差入保証金の回収による収入	520	299
預り保証金の受入による収入	-	255
投資活動によるキャッシュ・フロー	55,031	35,032

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	9,344	29,463
セール・アンド・リースバックによる収入	-	13,104
子会社の自己株式の取得による支出	-	7,696
配当金の支払額	128,905	171,857
少数株主への配当金の支払額	16,866	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	155,116	195,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,493	86,202
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	442,298	600,142
現金及び現金同等物の期首残高	3,035,083	3,387,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,477,382	3,988,090

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

【追加情報】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
受取手形	- 千円	53,367千円
支払手形	-	159,355

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
給与手当	490,435千円	539,508千円
賞与引当金繰入額	118,365	128,817
役員賞与引当金繰入額	38,000	57,000
退職給付費用	20,540	22,770

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金勘定	3,546,500千円	4,168,031千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	69,118	179,942
現金及び現金同等物	3,477,382	3,988,090

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月29日 定時株主総会	普通株式	129,335	15	平成24年2月29日	平成24年5月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月29日 定時株主総会	普通株式	172,447	20	平成25年2月28日	平成25年5月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	機械部門 (千円)	化成品部門 (千円)	計(千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(千円) (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,617,172	3,062,203	8,679,375	-	8,679,375
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,617,172	3,062,203	8,679,375	-	8,679,375
セグメント利益	728,536	299,671	1,028,207	134,456	893,750

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 134,456千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
6,445,279	598,318	489,821	1,145,955	8,679,375

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) 北米米国、カナダ

(2) 欧州フランス、英国等

(3) その他.....中南米、アジア等

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	機械部門 (千円)	化成品部門 (千円)	計(千円)	調整額 (千円) (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(千円) (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,733,274	3,148,402	8,881,677	-	8,881,677
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,733,274	3,148,402	8,881,677	-	8,881,677
セグメント利益	758,810	257,025	1,015,836	171,955	843,881

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 171,955千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
7,286,142	813,797	548,965	232,772	8,881,677

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) 北米米国、カナダ

(2) 欧州フランス、英国等

(3) その他.....中南米、アジア等

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	42円92銭	54円61銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	370,052	470,867
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	370,052	470,867
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,622	8,622

(注) 潜在株式調整後の1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

その他の注記事項（連結）

（金融商品関係）

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

（有価証券関係）

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

（デリバティブ取引関係）

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

（企業結合等関係）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月10日

フロイント産業株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

佐藤 明典

印

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士

神山 宗武

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフロイント産業株式会社の平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フロイント産業株式会社及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。